

# 医療機関のみなさま

業務の煩雑さや無駄な作業が増えると、スタッフの負担が大きくなり、医療の質にも影響が出ることがあります。

このような状況が続くと、スタッフの不満が高まり、離職のリスクが高まります。また、患者様に十分なケアが行き届かず、医療機関全体の評価に影響を与えることも考えられます。

業務効率化に取り組むことで残業削減、人件費削減など経営面でもメリットが期待できます。



## 業務改善

## 対策支援

### なぜ対策が必要なのか

業務改善への取り組みは、医療機関がより良いサービスを提供するために欠かせません。業務の効率化を図ることで、スタッフの負担が軽減され、働きやすい環境が整います。これにより、患者様へのケアの質が向上し、待ち時間の短縮、インシデントの減少につながります。さらに、スタッフの離職率が低下し、医療現場の安定性が増すという大きなメリットがあります。業務改善は、経営の安定と医療機関全体のパフォーマンス向上を図る重要な対策です。

### 北海道医療勤務環境改善支援センターとは

医療勤務環境改善支援センターとは、医療法第30条の21に基づき北海道が設置したものです。医業経営アドバイザー(医業経営コンサルタント等)、医療労務管理アドバイザー(社会保険労務士等)を配置するほか、医療専門職の専門家とも連携しながら、医療機関の多様なニーズに対し専門的な支援を無料で実施します。

相談・支援は  
全て無料

北海道が設置  
した機関で安心

専門アドバイザー  
が連携支援

## 支援の流れ(一例)

STEP 1	現状把握	現在の業務プロセスや課題を把握するため、業務整理シートを用いて業務内容を整理します。アンケート調査、ヒアリング調査、タイムスタディ調査などで現状を把握します。分析し、課題を明らかにします。
STEP 2	課題の抽出	把握した課題を基に、解決が必要な問題の優先順位を決定します。成果の大きさや取組の難易度などを考慮し、どの問題に最初に取り組むべきかを判断します。
STEP 3	改善策の検討、勤務環境改善計画の策定	分析結果をもとに、具体的な改善策を検討します。業務フローの見直しや業務の標準化、IT ツールの導入など、効果的な対策を検討し、勤務環境改善計画(実施計画)を策定します。
STEP 4	実施と評価	勤務環境改善計画(実施計画)に基づいて、改善策を実施します。必要に応じて計画を見直しながら進めていきます。実施後、スタッフへのアンケート調査などを通じて、改善策の効果を評価します。定期的なフォローアップを実施し、持続的な業務改善を目指します。

## 実施方法

専門アドバイザーが医療機関に伺い、現状の課題をヒアリングさせていただきます。

その後、改善に向けた取組を担当者の皆さまと一緒に考え、現場に合った対策を提案します。

支援は年に4~6回を目安に実施し、継続的にサポートしながら、安心して働ける職場環境づくりをお手伝いします。

## 「業務改善対策支援」の実施をお勧めする医療機関

- ・残業時間が多い
- ・人手不足で業務が回らない
- ・業務の煩雑さに悩んでいる
- ・業務フローが非効率である
- ・業務の標準化が進んでいない など

＼ ご相談は電話・メール・ホームページから ／

### 北海道医療勤務環境改善支援センター

〒060-0004 札幌市中央区北4条西6丁目毎日札幌会館3階 一社)北海道総合研究調査会(略称 | HIT)内

TEL 011-200-4005

MAIL

iryo-center@hit-north.or.jp

FAX 011-222-4105

HP

<https://iryokinmukankyo.sakura.ne.jp/hp/>

開所時間 | 平日 9:00~17:00 ※土日祝・夏季・年末年始休業日を除く

お問合せ・ご相談申込フォーム QR コード

お問合せ・ご相談申込はコチラ



北海道

厚生労働省

北海道労働局